

中国人民銀行 国家外貨管理局

クロスボーダー融資のマクロプルーデンス政策因数の調整に関する通達 企業の外債枠が純資産の2.5倍まで拡大

2020年3月12日、中国人民銀行及び国家外貨管理局は、『全範囲クロスボーダー融資のマクロプルーデンス政策因数の調整に関する通達』（銀発[2020]64号、以下「64号通達」という）を公布し、「マクロプルーデンス管理」モデルにおけるマクロプルーデンス政策因数を1.00から1.25に引き上げました。これにより、「マクロプルーデンス管理」モデルを採用し外債調達を行う企業は、クロスボーダー融資リスク加重残高上限（以下、「外債枠」という）が純資産の2.0倍から2.5倍に拡大されます。「64号通達」は、公布日より施行されます。

【ポイント】

- 「マクロプルーデンス管理」モデルを採用している企業は、外債枠が純資産の2.0倍から2.5倍に拡大
- 「投注差」モデルによる外債枠は変更なし

1. 政策の背景

新型コロナウイルスの感染拡大は、国内機構、特に中小企業に大きな影響を与えており、多くの企業は業務を再開する際に、資金調達が困難であったり高コストとなるといった問題に直面しています。

「64号通達」では、国内機構の外債枠を拡大し、外資利用を更に活性化させることで、実体経済の資金調達コストの引き下げを図っています。

中国人民銀行が2017年に発表した「全範囲クロスボーダー金融のマクロプルーデンス管理に関する通知」（銀発[2017]9号、以下「9号通達」という）により、中国の国内企業及び金融機関は、「マクロプルーデンス管理」モデルで外債調達が可能となりました。そのうち、外商投資企業及び外資系金融機関は、過渡期（当初1年としていましたが、現在まで延長されています）において、引き続き「投注差」モデルでの外債調達も可能とされています。

「64号通達」では、「マクロプルーデンス管理」モデルによる外債枠のみを拡大し、「投注差」モデルについては調整されていません。

2. 本規定の主要内容

「マクロプルーデンス管理」モデルでは、国内機構の外債枠は、資本金または純資産額×レバレッジ率×マクロプルーデンス政策因数で計算されます。「64号通達」では、マクロプルーデンス政策因数を1.00から1.25に引き上げ、企業の外債枠を純資産の2.0倍から2.5倍に拡大しました。

（次頁に続く）

【図表1】 クロスボーダー融資リスク加重残高上限（＝外債枠）の計算方法							
	資本金・純資産額	×	レバレッジ率	×	マクロプルーデンス政策因数	=	クロスボーダー融資リスク加重残高上限
企業	純資産		2.0				(現状) 純資産の 2.0 倍 (本件後) 純資産の 2.5 倍
非銀行金融機構	資本	×	1.0	×	(現状) 1.00 (本件後) 1.25	=	(現状) 資本の 1.00 倍 (本件後) 資本の 1.25 倍
銀行類金融機構	一級資本		0.8				(現状) 一級資本の 0.8 倍 (本件後) 一級資本の 1.0 倍

「64号通達」では、「投注差」モデルにおける外債枠の調整を行っていません。

[例] 純資産100の企業は、上記の計算方式に従い、外債枠=100×2.0×1.25=250となります。

また、「9号通達」の要件によると、外債枠内の費消額としては、通貨や期間（具体的には以下に示す各転換因数）に応じて計算され、実際の外債契約金額以上を消費する可能性があります。

以下、各パターンを試算しております。

(ご参考)外債枠費消額の計算に関して

<前提>

長期:期間1年超、短期:1年以内

A: 期間リスク転換因数、B: 類別リスク転換因数、C: 為替リスク転換因数

長期の人民元建外債 20 : 外債枠費消額=20×1.0(A)×1.0(B)=20

短期の人民元建外債 20 : 外債枠費消額=20×1.5(A)×1.0(B)=30

長期の外貨建外債 20 : 外債枠費消額=20×1.0(A)×1.0(B)+20×0.5(C)=30

短期の外貨建外債 20 : 外債枠費消額=20×1.5(A)×1.0(B)+20×0.5(C)=40

「64号通達」により、純資産100の企業は外債枠が250となりますが、必ずしも250の外債を調達することが可能ではない点、ご留意が必要になります。

「9号通達」の詳細な内容は、以下のリンクにある実務・制度ニュースレターからご確認頂くことが可能です。

<http://www.bk.mufg.jp/report/chi200403/317021503.pdf>

3. 企業への影響

中国人民銀行と国家外貨管理局は、現状のマクロ経済・国際収支状況を踏まえ、マクロプルーデンス政策因数の引き上げを通じて、特に中小企業に対して、「マクロプルーデンス管理」モデルを通じて外債枠を拡大し、キャッシュフローが悪化した企業に更なる資金調達の余地を与えました。「64号通達」は、「投注差」モデルを調整していないことから、「投注差」モデルを採用する外商投資企業は、2つの外債枠管理方式を比較検討する必要があります。そして、「マクロプルーデンス管理」モデルの方が外債利用可能額が大きな企業は、現地の外貨管理政策に従って「マクロプルーデンス管理」モデルに切り替えることが可能です。「投注差」モデルを採用する企業は、当局が「投注差」モデルに関する追加政策を展開するかについて、引き続き注意を払うことをお勧めいたします。

引き続き、関連情報をフォローの上、情報が入り次第、随時情報共有させていただきます。

以上

以下は、中国語原文と日本語参考訳です。

中国語原文	日本語参考訳
<p>中国人民銀行 国家外汇管理局 银发〔2020〕64号 国家外汇管理局关于调整全口径跨境融资宏观审慎调节参数的通知</p> <p>中国人民银行上海总部，各分行、营业管理部，各省会（首府）城市中心支行、深圳市中心支行；国家外汇管理局各省、自治区、直辖市分局、外汇管理部，深圳、大连、青岛、厦门、宁波市分局；国家开发银行，各政策性银行、国有商业银行、股份制商业银行，中国邮政储蓄银行：</p> <p>为进一步扩大利用外资，便利境内机构跨境融资，降低实体经济融资成本，根据当前宏观经济和国际收支状况，中国人民银行、国家外汇管理局决定将《中国人民银行关于全口径跨境融资宏观审慎管理有关事宜的通知》（银发〔2017〕9号）中的宏观审慎调节参数由1上调至1.25。</p> <p>本通知自发布之日起实施。全口径跨境融资宏观审慎管理的其他事宜仍以《中国人民银行关于全口径跨境融资宏观审慎管理有关事宜的通知》为准。</p> <p>中国人民银行 国家外汇管理局</p> <p>2020年3月11日</p>	<p>中国人民銀行 国家外貨管理局 銀発〔2020〕64号 全範囲クロスボーダー融資マクロプルーデンス政策因数の調整に関する通達</p> <p>中国人民銀行上海本部、各支店、営業管理部、各省都の都市中心支行、深圳市中心支行；国家外貨管理局各省、自治区、直辖市分局、外貨管理部、深圳・大連・青島・厦門・寧波市分局、国家開發銀行、各政策性銀行、国有商業銀行、株式制商業銀行、中国郵政貯蓄銀行：</p> <p>外資利用を更に拡大し、国内機構のクロスボーダー融資を更に利便化し、実体経済の資金調達コストを引き下げるために、現在のマクロ経済・国際収支状況を踏まえ、中国人民銀行と国家外貨管理局は、『中国人民銀行 全範囲クロスボーダー融資マクロプルーデンス管理関連事項についての通知』（銀発〔2017〕9号）におけるマクロ・プルーデンス政策因数を1から1.25に引き上げることを決定した。</p> <p>本通達は、公布日から実施する。全範囲クロスボーダー融資マクロプルーデンス管理に関するその他の事項は、『中国人民銀行 全範囲クロスボーダー融資マクロプルーデンス管理関連事項についての通知』に準ずる。</p> <p>中国人民銀行 国家外貨管理局</p> <p>2020年3月11日</p>

【日本語参考訳：MUFGバンク（中国）有限公司 リサーチ&アドバイザー部】

- ☞ 本資料は、参考のみを目的として、MUFG バンク（中国）有限公司(以下「当行」)が作成したものです。当行は、本資料に含まれる情報の適切性、完全性、又は正確性について、いかなる表明又は保証をしません。
- ☞ 本資料に記載されている情報及び意見のいずれも、預金、証券、先物、オプション、又はその他の金融商品又は投資商品の購入又は売却の申出、勧誘、アドバイス若しくは推奨をするものではなく、またそのように解釈されるものでもありません。
- ☞ 本資料に含まれる意見(あらゆる声明及び予測を含む)は、通知なしに変更される可能性があり、その正確性を保証致しかねます。本資料は、不完全又は要約されている場合もあり、本資料に掲げる当事者に関する重要な情報を全て網羅していない可能性もあります。当行（含む本店、支店）及び関連会社のいずれも、本資料を更新する義務を負いません。
- ☞ 本資料に含まれる情報は、MUFG バンク（中国）有限公司(以下「当行」)が信頼できると判断した情報源から入手したのになりますが、当行は、その適切性、適時性、適合性、完全性又は正確性について、いかなる表明又は保証をせず、一切の責任又は義務を負いません。したがって、本資料に記載されている評価、意見、見積り、予測、格付け若しくはリスク評価は、当行による表明及び/又は保証に依拠されるものではありません。当行（含む本店、支店）及び関連会社並びに情報提供者は、本資料の全部又は一部の使用に起因するいかなる直接的又は間接的な損失又は損害について、いかなる責任を負いません。
- ☞ 過去の実績は、将来の業績を保証するものではありません。本資料に含まれるいかなる商品の業績の予測について、必ずしもその将来実現する又は実現できる業績を示すものではありません。
- ☞ 当行は、本資料の著作権を保有し、当行の書面同意なしに本資料の一部又は全部を複製又は再公布することが禁止されます。当行（含む本店、支店）又は関連会社は、当該複製又は再公布によって生じる、いかなる第三者に対する責任を一切負いません。
- ☞ 受領者には、必要に応じて、専門的、法律、金融、税務、投資、又はその他の独立したアドバイスを別途取得する必要があります。

MUFG バンク（中国）有限公司 リサーチ&アドバイザー部 中国ビジネスソリューション室

(商 号) MUFG バンク（中国）有限公司

(住 所) 上海市浦東新区陸家嘴環路 1233 号匯亞大廈 22 楼

(登録番号) 中国銀行業監督管理委員会上海監管局 B0288H231000001